

CABLE TESTER

CT100

取扱説明書

日本語版

バージョン 1.0 2001 年 3 月



www.behringer.com

1. 概要

CT100 をお買い上げいただきまことにありがとうございます。CT100 はケーブルとコネクタのチェックに欠かせないツールです。このツールを使うと、ミュージシャンが使用する市販のケーブルを完璧にチェックすることができます。故障したケーブルはライブでの使用などに際して、ストレス発生のもっとも多い原因の一つです。このようなストレスの原因を解消するため、マイクロプロセッサ制御のツールを開発しました。これによって、信頼できるケーブルチェックは誰にでもできる簡単な作業になりました。装置に付属しているベルトクリップは、快適さをさらに付け加えます。

2. ケーブルテスト・モード

 **ON** スイッチを **CABLE TESTER** の位置に移動させてください。

ケーブルのエンドを CT100 のお好みの OUT ジャックと接続します。これに並列にもう一方のケーブルエンドを IN ジャックの一つと接続します。ディスプレイ上の LED の点灯によって、どの入力ピンがどの出力ピンと接続されているかを確認することができます。XLR OUT ジャックのアースがプラグの Pin 1 (Ground/Shield) と接続されている場合には GROUNDED SHIELD-LED が点灯します。

2.1 接触不良箇所の発見と表示

現在ディスプレイ上に表示されている Pin 結線を保存するにはケーブルテスト・モード内で RESET を押します。RESET を押すと同時に INTERMITTENT-LED が消灯します。この状態で、接触不良箇所の有無を調べるため、ケーブルのプラグコネクタ一部を動かして見てください。装置が一つ以上のピンで接触不良箇所が発見すると、対応する INTERMITTENT-LED が点灯します。RESET を押すと、LED は再び消灯します。再確認のために同じテストをもう一度繰り返します。INTERMITTENT-LED

の継続的な点灯は、接触不良箇所の発見によってディスプレイ上に現れる瞬間的な LED の点灯をはっきりと確認するために役立ちます。

3. 固定配線ないの短絡（ショート）箇所の発見

（スタジオなどの）固定された配線ではケーブルの末端にしかアクセスできないという事がよくあります。このため、このような場合には「Installed Cable Tester Mode」モードでケーブルのチェックを行うことをお勧めします。

 **RESET** ボタンを押したままで **ON** スイッチを **CABLE TESTER** ポジションに移動します：**ON-LED** が点灯し、**CT 1 0 0** がショートテスト・モード（「Installed Cable Tester Mode」）に切り替わったことを表示します。

このモードでは、ディスプレイは出力ピン間の接続（= ショート）だけを表示します。ケーブルテスト・モード（第 2 章参照）との違いは、このモードでは出力ピンと入力ピンの間の接続が表示されないことです。「怪しい」と思われるケーブルの末端を CT100 の適当な OUT ジャックに接続し、他の端はそのままにしておきます。ディスプレイ上の LED が一つも点灯しない場合には、ケーブル内にショート箇所が見つからなかったことをあらわします。

3.1 固定配線の導通状態をテストする

ケーブルの導通状態のテストの際には、2 つの出力ピンをわざとショートさせます。テストには、ショートさせたジャックをケーブルの自由端と接続します。ケーブル内を信号が通過できる場合、ディスプレイにはショートしたピンが表示され、ディスプレイに何も現れない場合には、そのケーブルは導通していないことを示しています。

- ☞ 接触不良の発見はケーブルテスト・モード (2 . 1 参照) と同様に行ってください。

4. テスト音声・モード

- ☞ **ON** スイッチを **TEST TONE** の位置に動かします。
- ☞ テスト音声・モードは **MIDI** ケーブルには使用しないでください。

CT100 のすべての OUT ジャックの「hot」ピンにはテスト音声が出力されています。TEST TONE LEVEL スイッチで +4 dBu、-10 dBV または -50 dBV (マイクレベル) の選択を行うことができます。テスト音声・モードでは信号の導通の状態と信号のレベルをチェックします。設定されたテスト音声はバッテリーの消費に伴って、理想的な信号レベルから相違する場合がありますことに注意してください。

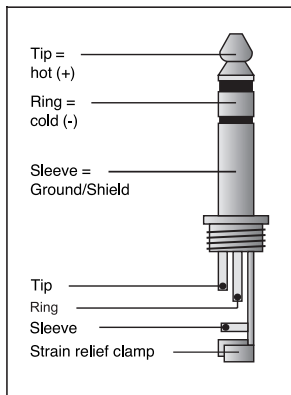
4.1 テスト音声の切り替え (1 kHz および 440 Hz)

CT100 がテスト音声モードに切り替わっている場合 RESET を押すと 1 kHz と 440 Hz との切り替えを行うことができます。TEST TONE-LED はこのとき選択された音声を表示します：点灯 = 1 kHz、消灯 = 440 Hz。

5. ファンタム電源の供給の有無

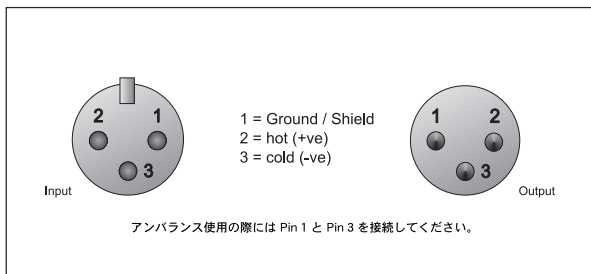
テスト音声モードでは CT100 はピン 2 とピン 3 に電源の外部供給が行われている稼動かを見地します。この電圧は通常、コンデンサーマイクへの供給電源として使用されます。PHANTOM LED 供給される電圧が約 9 ボルトを超えると点灯します。

6. ケーブルの種類

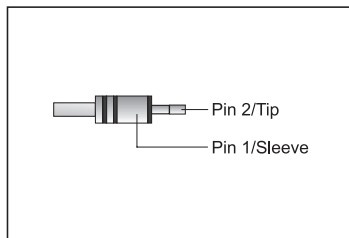


6.3 mm、3.5 mm & TT プラグ
 (ピン 3 は必ずしも使用する必要は
 ありません。)

MIDI コネクター
 (ピン 2 本は使用されて
 いません。)



XLR プラグ (ピンはコネクター上に表示)



RCA ピンコネクター

この取り扱い説明書は著作権法上の保護下にあり、複製ないし復刻には、部分的なものを含め、また図面の複製は、変更したものを含め、BEHRINGER社の書面による許諾を必要とします。BEHRINGERは登録商標です。

© 2001 BEHRINGER Spezielle Studiotechnik GmbH.
